

十一月二二日

昨夜は大阪でコンヴァージョン委員会ミーティング。午後東京へ戻る。夕方赤坂で鈴木・原口氏と会食。沖縄行のスケジュールを決める。

十一月二三日

昼、レウ・ベレズニツキ、佐賀新聞梅木氏来宅。レウは私のところへ2年程いたウクライナ生れのカナダ人で、生来の漂流人間だ。今はアメリカのミネアポリスで働いているという。上海のイ・フェイ・チャンと電話で話す。サンパウロ大学のマリア・セシリアから来年六月にブラジルに来いとの手紙が来た。どうしようかな。妙に浮いた一日であった。

十一月二四日 土曜日

三連休だが昨日は家で休んだ。今日は又動いた。朝横須賀へ。午後西調布。

世田谷村オリジナルのアルミ椅子の写真が出来てきた。三六枚撮って、オツと思えるのは三ショットだけだ。この世田谷の始めての椅子が何より良いのは軽い事。アールトの木の椅子よりも軽いいんだ。足許のゴムガスケットの部品も安藤が工夫して何とかないりそうだ。高橋工業の溶接精度が上げられる見込みがつけば、発売できるだろう。十二月中旬には間に合わせたい。

明日は聖徳寺現場。百基程の墓のデザインもまとまりそうだし、何だかようやく気合が入ってきた。

星の子愛児園の現場は二階まで鉄が組み上がった。年内に三階の鯨が上がるかどうか。十二月二七日の上棟式の日程だけ決まっている。月曜日の午後は明治通りのコンヴァージョン計画の具体化について野村に指示しなくてはいけない。いけない、いけないの連続だ。

日記をメモしながらつくづく感じるのは、又も仕事人間に振りが戻ってしまったら事。こんなにあわただしい日々を送っていてはいけない。もっと普通の人間との附合いをキチンとしなくちゃいけない。俺のまわりは変人ばかりだ。それで俺も変になっちゃってしまった。そうとうに変なんだ、この事態は。変は変で筋を通すのも生き方だろうが。

十一月二五日 日曜日

快晴、朝椅子の学習。昼、富士嶺聖徳寺へ。杭打ちの筈が現地の手配が間に合わず、又も何が何だかわからぬ現場行になってしまった。スタッフをゆらり温泉につからせに行つたようなもんだ。富士山は雪をかむり実に雄大であった。が、富士山を間近に眺めるとヒマラヤを想い出してしまふ。K2やアンナプルナを間近に仰いだ時の驚きは富士山をささやかな地ブクレだと知らしめてしまふ。大きさに対する感動は建築にもある。デッキイ建築をやつてない。建築のデカサに対する感受性を失くさないようにしなくては。デッキサは力だ。

夜七時半東京に戻る。宗柳で食事。

十一月二六日

昨日は松崎町長選挙。朝、役場の森さんよりFAX。前議長職の深沢氏当選。石田氏僅差。現職森氏は最下位であった。松崎町のまちづくりの仕事はどうなってゆくことや、町長しだい大きく変わるからなア。

世田谷村オリジナル・チェアは「セロリ」と名付けて十二月十七日に発売することにした。第一回配付は四〇脚。